

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年7月9日 (2015.7.9)

【公開番号】特開2014-30526(P2014-30526A)
 【公開日】平成26年2月20日 (2014.2.20)
 【年通号数】公開・登録公報2014-009
 【出願番号】特願2012-171757(P2012-171757)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月22日 (2015.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定のタイミングで乱数値を更新する乱数更新手段と、
 前記乱数更新手段にて更新された乱数値を遊技に関連して発生する所定信号に基づいて格納する乱数格納手段と、
 前記乱数格納手段にて格納した乱数値を取得する乱数取得手段と、
 前記乱数取得手段にて取得した乱数値を用いて遊技者に有利な遊技価値を付与させるか否かの抽選を行う抽選手段と、
 前記乱数格納手段に乱数値が格納されているか否かを確認する乱数格納確認手段と、
前記乱数格納確認手段による確認の異常を検知する異常検知手段と、
前記異常検知手段にて異常が検知された場合、所定の異常検知時処理を実行する異常検知時処理手段とを有してなることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記異常検知時処理手段は、異常が発生したことを外部に報知する処理を実行することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

請求項 1 の発明に係る遊技機によれば、所定のタイミングで乱数値を更新する乱数更新手段（乱数生成回路 6 2 0 a）と、

前記乱数更新手段（乱数生成回路 6 2 0 a）にて更新された乱数値を遊技に関連して発生する所定信号（特別図柄始動口 4 2 のスイッチ信号，ラッチレジスタトリガ信号）に基づいて格納する乱数格納手段（特別図柄乱数値レジスタ 6 2 0 b，6 2 0 0 b）と、

前記乱数格納手段（特別図柄乱数値レジスタ 6 2 0 b，6 2 0 0 b）にて格納した乱数値を取得する乱数取得手段（ステップ S 5 4，ステップ S 3 0 3，ステップ S 3 0 0 4）と、

前記乱数取得手段（ステップS54，ステップS303，ステップS3004）にて取得した乱数値を用いて遊技者に有利な遊技価値を付与させるか否かの抽選を行う抽選手段（ステップS415）と、

前記乱数格納手段（特別図柄乱数値レジスタ620b，6200b）に乱数値が格納されているか否かを確認する乱数格納確認手段（特別図柄乱数ラッチフラグレジスタ620c）と、

前記乱数格納確認手段（特別図柄乱数ラッチフラグレジスタ620c）による確認の異常を検知する異常検知手段（ステップS53，ステップS3003）と、

前記異常検知手段（ステップS53，ステップS3003）にて異常が検知された場合、所定の異常検知時処理を実行する異常検知時処理手段（ステップS56）とを有してなることを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、請求項2の発明によれば、上記請求項1に記載の遊技機において、前記異常検知時処理手段（ステップS56）は、異常が発生したことを外部に報知する処理を実行することを特徴としている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】